

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれます。



監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三子 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山国秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーラボラトリー/博覧家DYミューズ・ア&Bピクチャーズ/キヤガ/旧西日本コミュニケーションズ/アイ・ビー・アイ/アイ・エヌ・エス/河北新報社/東日本放送/シネマ・トキオ)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: キヤガ GAGA gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく――。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★
GENDA GROUP

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく——。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

＊コーダ、きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供



母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

としては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



みなかみ町ふれあい交流会・みなかみ町老人クラブ連合会共催映画上映会のご案内

日にち 令和7年9月29日(月) 会場 まんてん星の湯 三国館

昼の部 13時30分開場 14時主催者あいさつ 14時10分上映開始 15時55分終了

夜の部 18時開場 18時30分主催者あいさつ 18時40分上映開始 20時25分終了

令和7年8月1日(金曜日)から、販売開始

料金 大人 前売券 1,200円 当日券 1,500円

小人(高校生以下) 当日券のみ 800円

販売時間 月曜日～金曜日(祝祭日は除く) 9:00～17:00

販売場所 みなかみ町役場【町民福祉課 障害・福祉係】・水上支所・新治支所

みなかみ町社会福祉協議会本所(土曜日でも販売しています)

問い合わせ先 みなかみ町社会福祉協議会本所【総務福祉課】(月夜野118番地) Tel.0278-62-0081

※字幕スーパー付きバリアフリー上映です。

音声ガイド機能を利用されたい方は、右記の2次元コードを事前にダウンロードし、当日はイヤホン持参、また上映中は必ず機内モードにしてください。

